

## エピローグ

企業に対するインタビューができたことが非常に大きかった。資料調査には限界があり、現地調査ではそれ以上の情報を得られるということを痛感した。(R.Y.)

テーマ設定や原稿の執筆など各自バラバラの活動と思いきや、毎回のグループ討議では仲間の新しい視点に影響を受けることも多く楽しかった。(N.M)

調査していく上で、実際に現地に足を向けるということは大変なことだと感じ、資料にばかり頼ってしまった。次の機会にはしっかりと現地調査を行いたい。(A.O)

調べてみると意外と知らない行政の努力や市の対する考えが変わったように思う。また講義中ディスカッションを行うことによって知らなかったことが仲間から聞けてすごく勉強になった。(M.O)

地元を久しぶりに訪れたことで以前とは異なる視点で現地調査を行うことができた。今回の演習をきっかけにまちづくりについてさらに興味をもったほか、グループワークの重要性を感じることもできた。(C.K)

現地調査を行ったことで、本やインターネットからは見えてこない貴重な情報を得ることができた。現場に行くことの重要性を実感した。(T.M)

関連部署への問い合わせを行ったことにより、自分の中で考えている方策と共通する部分もあったが、実際にそれを行うには見えない多くの障壁があることも併せて認識させられた。(N.U)

この演習を通して、仲間とディスカッションしながら進めることで多面的な視点をえることができたと思う。自分では気づかないところを他人から指摘され、新たな発見ができた。また、実際に事務所に足を運んでみる行動力が身につけられた。(K.T)

今回の授業を通して、自分の街に対する視線が変わった。よりよい街にするにはどのようにしたらよいかなど考えながら街を歩くようになり、グループのメンバーの視点も大事にできた。(M.W)

自らが現場に入っている時には気づかないような事が、論文という形で「言語化」していく中で様々な発見ができた。時間的な制約の中でどこまで現場の声を入れるかという点は苦勞した。(Y.S)

改めて自分の生まれ育った街について知ることができよかった。またグループワークを通して自分一人では思いつかなかったような視点で意見をもらえたので有意義な調査をすることができた。(A.I)

グループで意見を交換し、報告しあいながら活動することで、様々な視点から物事を考え調査することができた。また、地元をより深く知るきっかけができてよかった。(H.W)

地域に密着した商店街を探す中で、首都圏で自分の地元と連携を持ち、独自の活動をする商店街を見つけそこから話を聞くことができてよかった。(S.B)

実際にインタビューをして、自分の手で書くことの重要性を学んだので、これからも活かして行きたいと感じた。(S.S)

このレポートを完成させていく中で、行政や取り扱うテーマに対するイメージが変化した。実際に現地の方に連絡を取ったことは今後にも活きる経験であった。(M.H)